

番号	1. ①
項目	今年度の入学希望者数と受け入れた数を、学校別に明らかにされたい。
(回答) 心和中中学校夜間部への令和6年4月末での入学希望者数は68名で63名の方々が入学されました。5名の方の内、2名の方は他の夜間学級への入学を希望され、3名の方については9月入学を進めております。 天満中学校夜間学級への令和6年4月末での入学希望者数は56名で、うち27名の方々が入学されました。残りの29名の方々については、他の夜間学級への入学や、9月入学を進める対応等を行っております。 東生野中学校夜間学級への令和6年4月末での入学希望者数は31名で31名の方々が入学されました。	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	1. ②
項目	入学を断った生徒に対する教育委員会の対応について明らかにされたい。
(回答) 4月入学とならなかった方については、各学校と連携を取りながら、9月入学に向けて進めております。	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	1. ③
項目	来年度、全ての入学希望者を受け入れるために、増設や交通の利便性も勘案した方策について明らかにされたい。
(回答) 本市における中学校夜間学級の今後のあり方につきましては、全市的な状況を踏まえ適切に対応してまいります。	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	2. ①
項目	心和中学校と心和中学校「天王寺教室」において、教育課程や教育内容に差をつけたいようにされたい。
(回答) 現在、心和中学校夜間部では1コマ40分の4時間授業、心和中学校夜間部天王寺教室では1コマ40分の3時間授業を実施しております。心和中学校夜間部天王寺教室においては、在籍する5名の方に対して、実情に応じた教育課程の編成、授業の展開を行っているところです。現在のところ、実技教科は2名の教員で授業を実施するなど、生徒一人一人に応じたよりきめ細やかな学びを実施しております。	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	2. ②
項目	生徒が心和中学校と心和中学校「天王寺教室」のどちらも選択できるようにされたい。
(回答) 令和3年度に天王寺中学校と文の里中学校の両夜間学級に在籍していた生徒に対しては、一部の希望する方に学びの継続性の観点から、心和中学校夜間部天王寺教室という形で学びの場を提供することといたしました。 しかし、令和4年度以降の入学者及び新たに入学を希望される方につきましては、受け入れることは想定しておりません。	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	3
項目	急増する日本語指導の必要な生徒に対応するために、日本語指導教員の加配を充実されたい。
(回答) 日本語指導教員の配置については、日本語指導が必要である実態を踏まえながら、効果的な教員の配置を行っているところです。	
担当	教育委員会事務局 教務部 教職員人事担当（電話：06-6208-9125）

番号	4
項目	すべての夜間中学生に給食、もしくはそれに値する食事を提供されたい。
(回答) 本市の中学校夜間学級の夜食給食につきましては、生徒を府内広域から受け入れていることから、広域行政の観点から大阪府の補助金事業として実施してきましたが、平成 21 年度に大阪府の補助金が廃止されることとなり、市民の税負担の観点や、市費単独での事業継続が困難であることの理由から、平成 21 年度で当該事業を廃止しているところです。 今後も引き続き大阪府の動向を注視してまいります。	
担当	教育委員会事務局 指導部 保健体育担当 電話：06-6208-9143

番号	5
項目	在籍期間中の就学援助を保障されたい。
(回答) 中学校夜間学級の就学援助費の支給年数につきましては、中学校夜間学級生徒就学援助費交付要綱の第2条第1項に「認定の対象は、中学校在籍中、通算3回とする。ただし、生徒が在籍する学校の校長が在籍を認める場合は、予算の範囲内において在籍中最高6回を限度として補助する。」と規定しています。一部、特別な事情で6年を越えて在籍される場合もございますが、ご理解をお願いいたします。 今後とも制度の研究を進め、引き続き適切な運用に努めてまいりたいと考えております。	
担当	教育委員会事務局 学校運営支援センター 事務管理担当 電話：06-6115-7653

番号	6
項目	大阪市民に夜間中学校がどれだけ周知されているか、調査されたい。
(回答) 現在の本市では、広報活動の工夫改善を進めつつ、中学校夜間学級への入学希望者の状況について注視しているところですが、ニーズの把握・分析につきましては、文部科学省の例示もふまえ、どのような調査をすれば、より効果的なニーズの把握ができるかについて、関係部局と連携しながら検討してまいります。	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186